

# SigmaSystemCenter 3.7 Release Notes

Published: 2018/Apr/20, Document Edition 1.0

## Welcome to SigmaSystemCenter 3.7

Release Name  
SigmaSystemCenter 3.7  
Release Date  
2018/Apr/20  
Internal Revision  
r32887

SigmaSystemCenter はマシン、ストレージ、ネットワークの統合管理ソフトウェア製品です。主に中規模、大規模ITシステム管理者向けのIT環境の統合管理ツールであり、複雑化したITシステムを抽象化し、構成変更や管理作業を容易に実行します。

SigmaSystemCenter 3.7 は企業がプライベートクラウドとパブリッククラウドを活用し機敏なビジネス活動をおこなうことを支援します。

SigmaSystemCenter は SystemProvisioning, DeploymentManager, SystemMonitor性能監視, ESMPROからなるスイート製品です。

## About This Document

本書は、SigmaSystemCenter 3.7 における変更点を中心に記述したリリースノートです。機能や設定の詳細については関連文書、マニュアルを参照してください。ここに記載している情報は、通知することなく変更される可能性があります。

- What's New
- 3.7 Release Notes

## What's New

SigmaSystemCenter 3.7 は、プライベートクラウド環境やパブリッククラウド環境を管理するための機能強化・改善、および、これまでに検出された問題の修正を行っています。主な変更点は以下の通りです。

- パブリッククラウド管理
  - Amazon Web Services (Amazon Elastic Compute Cloud) のサーバ管理に対応しました。(#20209)
- 仮想化基盤管理
  - VMware: 仮想ディスクごとに vSphere ストレージポリシーを指定できるようになりました。(#20412)
  - VMware: VM作成時に、vSphere ストレージポリシー機能を利用したデータストアの自動選択が行えるようになりました。(#20488)
  - Hyper-V: クラスタ全体のシャットダウン/起動に対応しました。(#20560)
- デバイス管理
  - UPS連携: ESMPRO/ACから通知されるUPSの停電/復電イベントを契機にポリシーを実行することができるようになりました。(#20267)
  - 管理中のデバイス(スイッチ、カスタムオブジェクト)のポート対象の SNMP Trap を受信し、ポートの状態を変更したり、関連するマシンに対してポリシーを実行することが可能になりました。(#18841, #18938, #19465)
- 設定自動化/改善
  - サブシステム登録時に運用グループの作成・マシンの登録を自動で実行することができるようになりました。(#20541)
  - マスタマシン登録操作において、複数マシンの一括登録やIPアドレスの自動設定ができるようになりました。(#8893)
- レポートニング
  - Webコンソールからレポートファイルの作成・ダウンロード・削除を行うことができるようになりました。(#18732)
  - 仮想マシンのゲストOSから取得した性能データをレポートに出力する場合の設定手順を改善しました。(#19998)
- プラットフォーム拡大
  - 以下の仮想化基盤をサポートします。
    - vSphere 6.7 (#20481, #21130)
    - Red Hat Enterprise Linux 6.9 KVM (#19662)
    - Red Hat Enterprise Linux 7.4 KVM (#20190)
  - 以下の管理対象マシンをサポートします。
    - Express5800/R120h-1E, R120h-2E (#20554)
    - Express5800/T120h (#20555)
  - 以下のストレージをサポートします。

- EMC VMAX3 (SMI-Sによる管理) (#16727)
- EMC Unity (SMI-Sによる管理) (#18880)
- iStorageManager/IntegrationBase V10.1 (#20841)
- データベース
  - 以下に対応しました。
    - Microsoft SQL Server 2017 (#20370, #20528, #20694)
    - PostgreSQL 9.6 (#20371, #20428, #20424)

---

## Legal Notices

Copyright (C) NEC Corporation 2003-2018.

NEC SigmaSystemCenter, SigmaSystemCenter, MasterScope, EXPRESSCLUSTER, SIGMABLADE and ProgrammableFlow are either registered trademarks or trademarks of NEC Corporation in the United States and/or other countries.

Microsoft, Active Directory, Windows, Windows Server, Hyper-V, Microsoft Internet Explorer, and SQL Server are either registered trademarks or trademarks of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.

Linux is a registered trademark or trademark of Linus Torvalds in the United States and/or other countries.

Red Hat and Red Hat Enterprise Linux are registered trademarks or trademark of Red Hat, Inc. in the United States and/or other countries.

Intel, Pentium, Itanium, and Xeon are trademarks of Intel Corporation in the U.S. and other countries.

AMD is a trademark of Advanced Micro Devices, Inc.

EMC, VNX, Symmetrix, and CLARiiON are registered trademarks of EMC Corporation in the United States and other countries.

VMware, ESX Server, ESXi, vSphere, vCenter Server and vMotion are registered trademarks or trademarks of VMware, Inc. in the United States and other countries.

Citrix, Citrix XenServer, and Citrix XenCenter are registered trademarks or trademarks of Citrix Systems, Inc.

Foundry Networks, FastIron, ServerIron and the 'Iron' family of marks are trademarks or registered trademarks of Foundry Networks, Inc. in the United States and other countries.

BIG-IP is a registered trademark of F5 Networks, Inc. in the United States and/or other countries.

Oracle and Java are registered trademarks of Oracle and/or its affiliates.

Mozilla Firefox is a trademark of the Mozilla Foundation.

All other brands and products used in this document are the trademarks or registered trademarks of their respective trademark holders. The (R) and TM marks are not explicitly in this document.

---

## Term & Definitions

(#xxxxx)  
内部トラッキング番号

## Related Information

- 製品情報:  
<http://jpn.nec.com/websam/sigmasystemcenter/>
  - SigmaSystemCenter 3.7 ファーストステップガイド
  - SigmaSystemCenter 3.7 インストレーションガイド
  - SigmaSystemCenter 3.7 コンフィグレーションガイド
  - SigmaSystemCenter 3.7 リファレンスガイド
  - SigmaSystemCenter 3.7 仮想マシンサーバ(ESX/ESXi)プロビジョニングソリューションガイド
  - SigmaSystemCenter 3.7 クラスタ構築手順
  - SigmaSystemCenter 3.7 sscコマンドリファレンス
  - SigmaSystemCenter 3.7 Web API リファレンス

## 3.7 Release Notes

このドキュメントでは SigmaSystemCenter 3.7 の変更点について記述します。  
SigmaSystemCenter 3.7 は 3.6 Update 1 に対する品質強化や機能強化をしたリリースです。

## 製品構成

### SystemProvisioning

全体のオーケストレーション機能として、プロビジョニング機能やポリシー機能をつかさどります。SystemProvisioning のバージョンは 6.7 です。

SystemProvisioning のWebコンソールには <http://<管理サーバ>/Provisioning/> で接続できます。

### DeploymentManager

Windows, Linuxのデプロイメント機能をつかさどります。DeploymentManager のバージョンは 6.61 から、6.7 になりました。

DeploymentManager のWebコンソールには <http://<管理サーバ>/DPM/> で接続できます。

### SystemMonitor性能監視

マシン性能値の監視機能を提供します。SystemMonitor性能監視 のバージョンは 5.10 から、5.11 になりました。

### ESMPRO

マシン監視管理部分をつかさどります。マネージャとしてのESMPRO/ServerManagerとエージェントとしての ServerAgent、もしくは、ServerAgentService で構成されます。各エージェントは、マシン依存部を持つため、SigmaSystemCenter の媒体には含まれていません。NEC Express5800シリーズにバンドルされています。

ESMPRO/ServerManager のバージョン は 6.20 から、6.24 になりました。

## 製品体系とライセンススキーム

本章は SigmaSystemCenter の製品体系とライセンス体系について記載します。

### Edition

管理台数や機能により、以下のエディションを用意しています。

- Basic Edition
- Standard Edition
- Enterprise Edition

日本市場向けは日本語版、海外市場向けは英語版で構成します。

海外市場向けには、Enterprise Editionは存在せず、代わりにEnterprise Licenseを提供しています。

また、VirtualPCCenterの基盤としてVPCC Editionライセンスを定義しています。VPCC Edition の製品構成はStandard Editionと同じです。

SigmaSystemCenter 3.2 からメディアキットの提供を開始しました。メディアキットはインストール媒体のみでライセンスは含まれていません。(＃13386)

SigmaSystemCenter 3.6 からすべてのライセンスの送付を電子化しました。(＃19757)

## Basic Edition

Basic Editionは追加可能なターゲットライセンス数を8台に限定したエディションです。VMホストソケットライセンスを適用する場合、8台までのマシンを管理できます。

製品構成はStandard Editionと同じで、全ての機能を使用することができます。

Standard Editionへのアップグレードが可能です。

## Standard Edition

Windows / Linuxサーバ、Windows 7 / 8 / 8.1 / 10 クライアントのOSを対象とし、サーバOSは100台まで、クライアントOSは4000台までのターゲットライセンスを追加可能な中規模システム向けのEditionです。サーバ、ストレージ、ネットワーク、VMの構成制御機能を搭載。さらにサーバ統合、クライアント統合の両立が可能となります。

Standard EditionでVMの構成制御をおこなう場合は、仮想サーバ管理オプションが必要です。

## Enterprise Edition

追加可能なターゲットライセンス数に制限のない大規模システム向けのエディションです。Standard Editionの機能に加え、以下の違いがあります。

- 仮想サーバ管理オプションが含まれます。
- 10台分の Network Appliance Control オプションが含まれます。
- Cisco UCSの制御管理が可能です。(＃9764)
- PFC Controlオプションが含まれます。(＃19157)

なお、海外版ではEnterprise Licenseとして提供されます。

## Management Server License

各Edition製品には、一つの Management Server License が定義されます。これをBaseライセンスや本体ライセンスと呼称します。

管理サーバには一つの本体ライセンスが必要です。

管理サーバを追加するために、同じ目的のシステムで使用できる、管理サーバ追加ライセンスが定義されています。

新規インストール後60日間は、全機能を利用可能な試用版として使用することができます。(＃15613)

## Enterprise License

海外版では、Enterprise Licenseが Enterprise Editionの代替として定義されています。Enterprise Licenseは管理サーバライセンスの一種です。これを入れることにより、Enterprise Edition相当の追加可能なターゲットライセンス数、オプションが有効になります。

## Option License

管理サーバ毎に必要なオプションライセンスを定義しています。オプションライセンスは SigmaSystemCenter の機能を有効にするために必要なライセンスです。

仮想サーバ管理オプション

- 仮想化環境、および、パブリッククラウドの管理機能を有効にします。Enterprise Editionに同梱されています。

PFC Controlオプション

- プログラマブルフロー コントローラの管理機能を有効にします。Enterprise Editionに同梱されています。

管理サーバクラスタライセンス

- 管理サーバをクラスタ構成で運用する場合に必要なライセンスです。本ライセンス1つで、1台の待機系サーバに適用可能です。

## 管理対象ライセンス

管理対象マシンごとにライセンスが必要です。

## ターゲットライセンス

SigmaSystemCenter 3.0以降、OSの種類ごとに分かれていたターゲットライセンスを統合しました。SigmaSystemCenter 3.0以前は、

OSの種類ごとにターゲットライセンスが必要でしたが、共通のターゲットライセンスが使用できます。これにより、WindowsからLinuxへマシンを用途変更する場合に2つのライセンスを用意する必要がありません。(＃4498)

## ホストソケットライセンス

- ホストソケットライセンスはCPUのコア数に依存し、以下の4種類のライセンスがあります。SigmaSystemCenter 3.4から、"(17-32Core) ライセンス" を追加しました。(＃16039)
  - VMホストソケット (1-8Core) ライセンス
  - VMホストソケット (9-16Core) ライセンス
  - VMホストソケット (17-32Core) ライセンス
  - VMホストソケット (無制限) ライセンス
- VMを管理する場合に、VMホストソケットライセンスとターゲットライセンスを混在させた運用ができます。設定方法や使用条件について、お問い合わせください。VMホストソケットライセンスを使用する場合に全てのVMサーバにソケットライセンスを適用する必要がありました。VMと物理マシンが統合管理される場合のライセンス混在は従来どおりサポートされています。(＃12183)
- ホストソケットライセンスは、パブリッククラウド (NEC Cloud IaaS) のマシンを管理する場合にも必要となります。パブリッククラウドマシンを管理する場合には、以下のライセンスを選択してください。1ライセンスあたり、10台までのパブリッククラウドマシンを管理することが可能です。
  - VMホストソケット (9-16Core) ライセンス

## その他のライセンス

- Differential CloneでVMを作成する場合、ホストソケットライセンスやターゲットライセンスを適用していても、VMの数分だけDifferential Clone オプション が必要です。
- ソフトウェアロードバランサ(LVS, NEC InterSecVM/LB)とファイアウォールアプライアンスの制御には Network Appliance Control オプション が必要です。Enterprise Edition には 10台分の使用許諾が含まれています。なお、Network Appliance Control オプション は Software Load Balancer オプション から名称が変更されたオプションです。(＃14183)

## Install

### 必要システム構成

インストールの前に、お使いのコンピュータが必要システム構成を満たしているか確認してください。詳しくはファーストステップガイド 3章 動作環境 を参照してください。

#### 管理サーバ

##### 最小ハードウェア構成

##### CPU

Intel Compatible 2GHz 2 Core以上

##### メモリ容量

2GB以上

##### ディスク容量

22GB以上

##### OS

- Windows Server 2016 Standard
- Windows Server 2016 Datacenter
- Windows Server 2012 R2 Standard
- Windows Server 2012 R2 Datacenter
- Windows Server 2012 Standard
- Windows Server 2012 Datacenter
- Windows Server 2008 R2 Standard SP1
- Windows Server 2008 R2 Enterprise SP1
- Windows Server 2008 R2 Datacenter SP1

##### 必須ソフトウェア

- .NET Framework 4.6.2, 4.7, 4.7.1
- IIS 7.5もしくはそれ以降のバージョン
- ASP.NET 4.0, 4.5, または 4.6
- 以下のいずれかのデータベースソフトウェア(バージョンは後述)
  - Microsoft SQL Server
  - PostgreSQL

## アップグレード

SigmaSystemCenter 1.x からの直接のアップグレードはサポートしません。SigmaSystemCenter 1.x からは SigmaSystemCenter 3.1 Update 1 を経由したアップグレードをサポートします。

SigmaSystemCenter 2.x からアップグレードする場合、ESMPRO/SM を ESMPRO/SM Ver.4からVer.5に更新しておく必要があります。(＃17118)

## Runtime Environment

### .NET Framework

.NET Frameworkが SigmaSystemCenter の動作環境として使われています。SigmaSystemCenter 3.7 は .NET 4.6.2 以降を使用しています。

### Java JRE

Java JRE はJavaの実行環境です。JREは DeploymentManager で使用されています。

SigmaSystemCenter 3.2 から JRE の同梱を廃止しました。Linux用のOSクリアインストール用パラメータファイルの作成、ディスク複製用パラメータファイルの作成、PackageDescriber を使用したパッケージの作成をおこなう場合は、Oracle社のサイトから最新の x86版の JRE をダウンロードしてインストールしてください。(＃13958)

### IIS

SigmaSystemCenter 3.7 は IIS 7.5, 8, 8.5, 10 をサポートしています。

## Database

データベースは SigmaSystemCenter が管理するIT環境の構成情報や設定を保存するために使われます。

Microsoft SQL Server 2016 SP1 Express x64 が製品にバンドルされています。

Microsoft SQL Server を使用する場合、デフォルトのDBインスタンス名は SSCCMDB と DPMDBI です。

サポートするDBMSは以下のとおりです。

- Microsoft SQL Server 2017
- Microsoft SQL Server 2017 Express
- Microsoft SQL Server 2016 SP1
- Microsoft SQL Server 2016 SP1 Express
- Microsoft SQL Server 2016
- Microsoft SQL Server 2016 Express
- Microsoft SQL Server 2014 SP2
- Microsoft SQL Server 2014 SP2 Express
- Microsoft SQL Server 2014 SP1
- Microsoft SQL Server 2014 SP1 Express
- Microsoft SQL Server 2014
- Microsoft SQL Server 2014 Express
- Microsoft SQL Server 2012 SP1
- Microsoft SQL Server 2012 SP1 Express
- Microsoft SQL Server 2012
- Microsoft SQL Server 2012 Express
- Microsoft SQL Server 2008 R2 Express Edition
- Microsoft SQL Server 2008 R2
- PostgreSQL 9.6.x (64bit)
- PostgreSQL 9.5.x (64bit)

## Browser

SigmaSystemCenter 3.7 では下記のブラウザで動作確認をおこなっています。

- Microsoft Internet Explorer 11 (#19004, #14303)
- Microsoft Internet Explorer 10 (#13781)
- Mozilla Firefox 52 ESR, 57
- Microsoft Edge (#17525)

## Resource Specific Information

本章は SigmaSystemCenter 3.7 リリースでサポートされるハードウェアや基盤についての情報を記載します。

### 仮想化基盤

管理対象の仮想化基盤として以下を追加しました。

- vSphere 6.7 (#20481, #21130)
- Red Hat Enterprise Linux 6.9 KVM (#19662)
- Red Hat Enterprise Linux 7.4 KVM (#20190)

### マシン

管理対象マシンとして以下を追加しました。

- Express5800/R120h-1E, R120h-2E (#20554)
- Express5800/T120h (#20555)

### ネットワーク

- PF6800 Ver. 4.x, 5.x のサポートを終了しました。(#20867)

### ストレージ

管理対象ストレージとして以下を追加しました。

- EMC VMAX3 (SMI-Sによる管理) (#16727)
  - ただし、デバイス(LUN)の作成/削除には、対応していません。
- EMC Unity (SMI-Sによる管理) (#18880)
- iStorageManager/IntegrationBase V10.1 (#20841)

以下のサポートを終了しました。

- EMC Symmetrix (#20868)

### 管理対象 OS

- Windows Vista のサポートを終了しました。(#20735)

## 一般的なシステム管理

- 設定自動化：サブシステム登録時に運用グループの作成・マシンの登録を自動で実行できるようになりました。(#20541)
  - vCenter Server および Hyper-V Cluster のみの対応となります。
  - 起動中のマシンに対して、仮想化基盤から取得したIPアドレスが自動で登録されます。(Linux VM は未対応)
- 設定手順の改善：マスタマシン登録操作を改善しました。(#8893)
  - 一度の操作で複数のマシンを登録できるようになりました。
  - 仮想化基盤から取得したIPアドレスが自動で登録されるようになりました。(Linux VM は未対応)

### リソースプール

- リソースプール集計処理の性能を改善しました。(#20144)

### 性能監視

SigmaSystemCenter は、SystemMonitor性能監視を使用してシステムの性能状況の監視をおこないます。SystemMonitor性能監視は、システムの性能データを定期的に収集してリアルタイムでグラフ表示することができます。

#### SystemMonitor性能監視 5.11

- 管理対象として Red Hat Enterprise Linux 7.4 に対応しました。(#20212)

- SystemMonitor性能監視のデータベース (Microsoft SQL Server) に対して、定期的にデータベースメンテナンスを行うように改善しました。(＃20199)
- ssc-perf コマンドを改善しました。(＃19598)
  - コマンドの実行結果を終了コードとして返却するようになりました。
  - コマンドの実行結果に関する詳細を出力するための -detailoutput オプションを追加しました。
- VMware ESXi のカスタム性能データ(単位が%のものを)、1/100とした値に変換する手段を提供します。(＃19152)

## VM管理

- サブシステムごとに既定で使用する構成パラメータを設定できるようになりました。(＃15198)
- 仮想基盤が異なるテンプレートを設定した運用グループで稼働している仮想マシンの再構成をサポートしました。(＃20047)
- VM編集画面で、仮想マシンが参照していないスナップショット上の仮想ディスクを表示しないようにしました。(＃20471)
- 既存の仮想ディスクを接続する際にディスクタイプが正しく設定されない場合がある問題を修正しました。(＃20530)
- 構成パラメータが未設定の運用グループに登録されている仮想マシンに対してVM再構成を実施した場合に、仮想マシンに設定されていた構成パラメータが削除される問題を修正しました。(＃21028)
- イメージファイル一覧にRDM仮想ディスクのLUN名が表示できない場合がある問題を修正しました。(＃20480)

## VMware

- 仮想ディスクごとに vSphere ストレージポリシーを指定できるようになりました。(＃20412)
- VM作成時に、vSphere ストレージポリシー機能を利用したデータストアの自動選択が行えるようになりました。(＃20488)
- vCenter Server の監視状態の変化(アップ/ダウンなど)を通知できるようになりました。(＃15596)
- vCenter Server のダウン等で vCenter Server の監視が停止した場合は定期的に監視再開を試みており、vCenter Server の復旧と監視再開まで最大で15分のタイムラグが発生していましたが、vCenter Server に対する操作を実施した時点で監視を再開するように改善しました。(＃20400)
- SigmaSystemCenter外で仮想マシンを起動したときに、仮想マシンのOS状態が確実に自動更新されるように改善しました。(＃19863)
- SigmaSystemCenter外で仮想マシンを移行したときに、仮想マシンと仮想マシンサーバの関連情報の取得が遅延することにより正しく更新されない場合がある問題を修正しました。(＃19864)
- スナップショットが存在する仮想マシンの削除処理時間を改善しました。(＃19169)
- vCenter Server がダウンしている場合の電源操作の処理時間を改善しました。(＃19170)
- 仮想マシン起動時に行うIPアドレス割り当ての待ち合わせ処理において、切断中の仮想NICは待ち合わせ対象外にしました。(＃19977)
- SigmaSystemCenterから VMXNET3 の仮想NICを作成する場合、「DirectPath I/Oの有効化」の設定は既定で無効になりました。(＃20366)
- SigmaSystemCenterでメモリのシェア値に高/標準/低を設定する際、その値に対応する vSphere の設定値(高/標準/低)を使用するように変更しました。(＃20660)
- Failover時に移行先のESXiでファイルロックが発生した場合に操作をリトライするようになりました。(＃20834)
- 分散仮想ポートグループの作成および削除操作と競合して操作が失敗する問題を修正しました。(＃20387)
- ISOファイルをマウントしている仮想マシンから Full Clone 用のテンプレートを作成する場合に収集操作と競合してタイムアウトする可能性がある問題を修正しました。(＃20699)
- SigmaSystemCenter外で vSAN Witness Appliance の ESXi をメンテナンスモードに移行した場合に、対象の ESXi が「処理中」と表示されない問題を修正しました。(＃20700)
- vSAN クラスタ管理下のすべての ESXi を選択してシャットダウンを実行する場合にメンテナンスモードの設定ができない問題を修正しました。(＃20677)
- 仮想マシンコンソールプロキシ : TLS1.1, TLS1.2 に対応しました。(＃20681)
- Rescue VM : Red Hat Enterprise Linux 7.4 に対応しました。(＃20485)

## Microsoft Hyper-V

- クラスタ全体のシャットダウン/起動に対応しました。これにより、これまでクラスタシャットダウン時に必要だった[フェイルオーバークラスタマネージャー]からの[クラスタのシャットダウン]の手動操作が不要になります。(＃20560)
- 保存中状態の仮想マシンに対するVM編集操作において、仮想NICと仮想ネットワークの接続を解除できない問題を修正しました。(＃19839)
- 仮想マシンの Storage Migration において、同名の仮想ディスクファイルが存在する場合に操作が失敗する問題を修正しました。(＃20263)
- Hyper-V ホストとの接続時に、古いセッション情報を使用してしまうことにより操作が失敗する場合がある問題を修正しました。(＃20581)
- クラスタとの接続時に、古いセッション情報を使用してしまうことにより操作が失敗する場合がある問題を修正しました。(＃20582)
- スタンドアロンの Hyper-V ホストの収集処理においてデッドロックが発生する場合がある問題を修正しました。(＃20965)

- Hyper-V ホストからの情報取得がエラーとなる状況において、他の Hyper-V ホスト上の仮想マシンに対しても操作がタイムアウトで失敗する状態に陥ってしまう問題を修正しました。( #21053)

## KVM

- VM編集時に構成パラメータの設定を削除して実行しても構成パラメータが削除されない問題を修正しました。( #19835)

## パブリッククラウド

- Amazon Web Services (Amazon Elastic Compute Cloud) のサーバ管理に対応しました。以下の機能を利用することができません。( #20209)
  - 構成情報・ステータス参照
  - 電源操作(起動/停止/再起動)
  - 作成・削除操作

## マシン制御管理

- ESMPRO/ServerManager Ver6 iLO SNMPトラップアラート一覧 第5版 までに追加されたイベントに対応しました。( #20998)

## ネットワーク

SigmaSystemCenter は、マシンの構成変更にあわせて、マシンに接続されているネットワークデバイス(スイッチやロードバランサ)の構成を変更します。

- 未使用の VLAN ID を自動的に選択し、論理ネットワークに割り当てることができるようになりました。( #8690)
- ファイアウォールとして登録した仮想マシンが削除されるとファイアウォールを削除できなくなる問題を修正しました。( #21087)

## ストレージ

SigmaSystemCenter は、マシンの構成変更に合わせて、マシンに接続されているストレージの構成を変更します。また必要な時に、LDを作成することができます。

- SMI-S 1.6 CIM-XML (DSP0201) に対応しました。( #20644)

## Deployment と Provisioning

### Deployment

- 論理ソフトウェア強化：テンプレート、DPMシナリオ、ファイル、ローカルスクリプトを一つにまとめて管理できるソフトウェアとして、直接型の論理ソフトウェアをサポートしました。( #20045)
- 論理ソフトウェア配布の改善：テンプレートを含む論理ソフトウェアは、そのテンプレートから展開された仮想マシンにのみ配信されるようになりました。( #21040)

### DeploymentManager 6.7

- リソース割り当て時のディスク複製インストールにおいて、DNSサーバのアドレスが指定と異なるNICに設定される場合がある問題を修正しました。( #21062, #21083)

## Policy と Action

- UPS連携：ESMPRO/ACから通知されるUPSの停電/復電イベントを契機にポリシーを実行することができるようになりました。これにより、停電時にUPSと関連するマシン全体を自動的にシャットダウンすることが可能となります。( #20267)
- 管理中のデバイス(スイッチ、カスタムオブジェクト)のポート対象の SNMP Trap を受信し、ポートの状態を変更したり、関連するマシンに対してポリシーを実行することが可能になりました。( #18841, #18938, #19465)
- ESMPRO/ServerManager 経由で検出するハードディスク交換障害のイベントを以下の標準ポリシーに追加しました。( #20674)
  - 以下のポリシーテンプレートに、ポリシー規則 "ディスク交換障害" として追加しました。
    - 標準ポリシー(物理マシン)
  - 以下のポリシーテンプレートに、ポリシー規則 "HW予兆:ディスク交換障害" として追加しました。
    - 標準ポリシー(仮想マシンサーバ)
    - 標準ポリシー(仮想マシンサーバ 予兆)

- 標準ポリシー(仮想マシンサーバ 省電力)
- 標準ポリシー(仮想マシンサーバ Hyper-V)
- 標準ポリシー(仮想マシンサーバ Hyper-V 予兆)
- 標準ポリシー(仮想マシンサーバ Hyper-V 省電力)
- 標準ポリシー(仮想マシンサーバ スタンドアロン ESXi)
- ポリシーアクション「マシン操作/ マシン再起動」に、仮想マシンサーバの再起動前に仮想マシンを別の仮想マシンサーバに退避させる機能を追加しました。( #20392)
- ポリシーアクション「マシン操作/ マシン停止(シャットダウン)」に、仮想マシンサーバのシャットダウン前に仮想マシンを別の仮想マシンサーバに退避させる機能、および、仮想マシンサーバにメンテナンスモードを設定する機能を追加しました。( #20393)
- ポリシーテンプレート「標準ポリシー(仮想マシンサーバ ステータス設定)」を追加しました。( #20675)
- ポリシーアクションのアクションパラメータの表示順を統一しました。( #21042)

## UI と API

### Webコンソール

- ESXi 6.0 以上の場合に、仮想マシンコンソールを別のタブで開くことができるようになりました。( #19294)
- Windows Server 2012 R2 および Windows Server 2016 でSOLコンソールを開くと、画面表示が崩れる場合がある問題を修正しました。( #20416)
- ホスト設定のホストプロファイルでOS種別を変更した場合にホスト詳細画面のOS種別の表示が更新されない問題を修正しました。( #20760)

### CLI

- ssc update vmproperty コマンドの -property オプションに空の値を指定できない問題を修正しました。( #20971)
- ssc logicalsoftware show コマンドで指定した論理ソフトウェアが存在しなかった場合にエラーメッセージを表示するようにしました。( #21047)
- マシンの電源操作直後に ssc set-machine-status コマンドの実行が排他処理の影響により失敗する場合がある問題を修正しました。( #20316)
- sscコマンドを複数同時に実行したとき、稀にエラーになる場合がある問題を修正しました。( #20568)
- ssc logicalsoftware add-software コマンドで再帰的に自身の論理ソフトウェアを登録できる問題を修正しました。( #21039)

### Web API

- REST API のバージョンを 2017-10-31 とし、以下のAPIを拡張しました。( #20615)
  - ホスト検索API: 検索条件(グループ)の追加、取得情報の追加
  - 論理ネットワーク作成・更新API: VLANIDの自動払い出し、リソースプール指定でのポートグループ作成・削除
  - テンプレート一覧取得API: テンプレート種別の追加
  - テンプレート情報取得API: テンプレート種別の追加
- グループ作成・更新API でパブリッククラウド用のグループが作成できない問題を修正しました。( #20788)
- 論理ネットワーク作成・更新API でパブリッククラウド用の論理ネットワークが作成できない問題を修正しました。( #20936)
- 論理ソフトウェアで作成した仮想マシンを再構成(Revert)すると、ホスト情報取得APIで取得する Template の情報が不正な値になる問題を修正しました。( #21025)

## その他

- LDAPサーバとのユーザ情報の同期に必要な設定項目をテンプレートファイル(LdapConfig.xml)に追加しました。( #20515)
- システム管理者権限を持たないユーザでハードウェアステータスの詳細表示が可能になりました。これと合わせて、表示されるステータスの「リセット(正常)」や「削除」の操作も可能となります。( #20774)
- UniversalConnectorの実行中ジョブ取得機能(GetJobList)において、操作者権限を持たないユーザでも取得が可能となりました。( #20589)
- データベース障害発生時にサービス(PVMService)がダウンしてしまう場合がある問題を修正しました。( #20671)

### レポートニング

- Webコンソールからレポートファイルの作成・ダウンロード・削除を行うことができるようになりました。( #18732)
- レポート用の性能監視設定手順を改善しました。( #19998)
  - インストール時に、仮想化基盤経由版(仮想マシンの性能データとして仮想化基盤から取得するものを利用)・OS経由版(仮想マシンの性能データとしてゲストOSから取得するものを利用)の両方のレポート定義/レポートテンプレート

ファイルが配置されるようになりました。これにより、OS経由版のレポートを作成する場合にレポート定義/テンプレートファイルを置き換える手順が不要となります。

- レポート作成時に、監視プロファイルの設定に応じて適切なレポート定義ファイルが自動選択されるようになりました。
- 既定の出力先ディレクトリにレポートを作成する場合の上限値(レポートファイルの最大合計サイズ、既定値:2GB)を設定できるようになりました。( #20707)
- VMware ESXi を対象としたレポートファイルの「論理CPU数」欄に、スレッド数ではなくコア数が出力される問題を修正しました。( #19912)

## Installer

- 動作環境として .NET 4.7.1 に対応しました。( #20659, #20915, #20664)
- 管理サーバにインストールが必要なIISコンポーネントのうち、IIS6メタベース互換のインストールが不要になりました。( #18546, #18434)
- クラスタ環境の待機系でインストールする際にPostgreSQLのデータベースを作成しないようにするための設定項目を追加しました。( #20016, #20213)

## Database

- データベースとして Microsoft SQL Server 2017 に対応しました。( #20370, #20528, #20694)
- データベースとして PostgreSQL 9.6 に対応しました。( #20371, #20428, #20424)
- DBスキーマバージョン - SigmaSystemCenter 3.7 におけるDBスキーマバージョンは 41 です。( #20697)

---

## Copyright

This product includes software developed by the Apache Software Foundation (<http://www.apache.org/>).

This product contains Microsoft SQL Server Express, which is distributed by Microsoft Corporation without charge, Use these products after accepting their license agreements. For details of copyright and ownership rights, refer to the following license files: <folder where Microsoft SQL Server Express is installed>\License Terms

Some icons used in this program are based on Silk Icons released by Mark James under Creative Commons Attribution 2.5 License. Visit <http://www.famfamfam.com/lab/icons/silk/> for more details.

This product includes software developed by Routrek Networks, Inc.

---

Copyright (c) NEC Corporation 2003-2018. Version: 3.7-32887, SystemProvisioning 6.7.0014